

(様式第 9)

国がん発第 675号
平成21年 〇月〇日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立がんセンター中央

国立がんセンター中央病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 21 年度の業務に関して報告

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	135 人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	126人	100.7人	246.7人	看護業務補助	7人	診療エックス線技師	人
歯科医師	1人	人	1人	理学療法士	人	臨床検査技師	43人
薬 剤 師	18人	11.8人	31.8人	作業療法士	人	衛生検査技師	人
保 健 師	人	人	人	視能訓練士	1人	その他	人
助 産 師	人	人	人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	1人
看 護 師	466人	人	466人	臨床工学技士	2人	医療社会事業従事者	3人
准看護師	人	0.7人	0.7人	栄 養 士	2人	その他の技術員	1人
歯科衛生士	人	0.7人	0.7人	歯 科 技 工 士	人	事 務 職 員	62人
管理栄養士	3人	2.2人	5.2人	診療放射線技師	40人	その 他 の 職 員	16人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	503.2 人	人	503.2 人
1日当たり平均外来患者数	974.3 人	8.0 人	982.3 人
1日当たり平均調剤数	5,693 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンピン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンピンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はパージャージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。)に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着、瞼球癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
神経芽腫のRNA診断	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。)に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリーノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マンツル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの)に限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るもの)に限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はヒオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	有・無	6人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	255人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(ブルー・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	1人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	1人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	0人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHIF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	人
・多発性硬化症	人	・ウェゲナー肉芽腫症	人
・重症筋無力症	人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	人
・全身性エリテマトーデス	2人	・多系統萎縮症	人
・スモン	人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	人
・再生不良性貧血	16人	・膿疱性乾癬	人
・サルコイドーシス	人	・広範脊柱管狭窄症	人
・筋萎縮性側索硬化症	人	・原発性胆汁性肝硬変	2人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	2人	・重症急性膵炎	人
・特発性血小板減少性紫斑病	4人	・特発性大腿骨頭壊死症	人
・結節性動脈周囲炎	人	・混合性結合組織病	人
・潰瘍性大腸炎	3人	・原発性免疫不全症候群	人
・大動脈炎症候群	人	・特発性間質性肺炎	人
・ピュルガー病	人	・網膜色素変性症	人
・天疱瘡	1人	・プリオン病	人
・脊髄小脳変性症	人	・原発性肺高血圧症	人
・クローン病	3人	・神経線維腫症	人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	人	・亜急性硬化性全脳炎	人
・悪性関節リウマチ	人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・パーキンソン病関連疾患	2人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	人
・アミロイドーシス	人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	人
・後縦靭帯骨化症	1人	・副腎白質ジストロフィー	人
・ハンチントン病	人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	11回/週		
剖検の状況	剖検症例数	54例	剖検率 13.9 %

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
主要がんの全国登録に基づく患者情報の解析と活用に関する研究	浅村 尚生	国立がんセンター 中央病院	7,520	補委 厚生労働省 がん研究助成金
食道がんの全国登録に基づく患者情報の解析と活用に関する研究	日月 裕司	国立がんセンター 中央病院	1,300	補委 厚生労働省 がん研究助成金
女性性器癌登録に関する研究	恩田 貴志	国立がんセンター 中央病院	1,300	補委 厚生労働省 がん研究助成金
乳がんの全国登録に基づく患者情報の解析と活用に関する研究	北條 隆	国立がんセンター 中央病院	1,300	補委 厚生労働省 がん研究助成金
胃癌の全国登録に基づく患者情報の解析と活用に関する研究	阪 眞	国立がんセンター 中央病院	1,300	補委 厚生労働省 がん研究助成金
肺がんの臨床病理学的研究	鈴木 健司	国立がんセンター 中央病院	700	補委 厚生労働省 がん研究助成金
非血縁末梢血幹細胞移植法の確立	森 慎一郎	国立がんセンター 中央病院	1,000	補委 厚生労働省 がん研究助成金
がん情報ネットワークを利用した情報発信の実態把握についての研究	若尾 文彦	国立がんセンター 中央病院	1,500	補委 厚生労働省 がん研究助成金
3D-CTナビゲーションによる経気管支生検の検討	土田 敬明	国立がんセンター 中央病院	1,200	補委 厚生労働省 がん研究助成金
眼部悪性腫瘍の眼球保存的治療の開発	鈴木 茂伸	国立がんセンター 中央病院	3,500	補委 厚生労働省 がん研究助成金
頭頸部癌手術後のQOL調査	吉本 世一	国立がんセンター 中央病院	1,400	補委 厚生労働省 がん研究助成金
適正な乳房温存療法のための画像診断に関する検討	明石 定子	国立がんセンター 中央病院	1,100	補委 厚生労働省 がん研究助成金
抗悪性腫瘍薬の至適投与設計のための薬理作用マーカーの探索と個体差の評価	山本 昇	国立がんセンター 中央病院	1,200	補委 厚生労働省 がん研究助成金
胃がんに対するリンパ節郭清を伴う腹腔鏡下手術と開腹手術との比較に関する研究	片井 均	国立がんセンター 中央病院	5,320	補委 厚生労働省 がん研究助成金
網羅的タンパク室(遺伝子)発現解析による横紋筋肉腫バイオマーカーの探索	川井 章	国立がんセンター 中央病院	1,300	補委 厚生労働省 がん研究助成金
胃がんの転移巣を有する遊離癌細胞の検出に関する研究	深川 剛生	国立がんセンター 中央病院	1,000	補委 厚生労働省 がん研究助成金
大腸癌において転移陽性症例の癌細胞遺伝子の発現profileの確立	山本 聖一郎	国立がんセンター 中央病院	1,000	補委 厚生労働省 がん研究助成金
分子標的薬物療法の毒性と併用療法に関する前臨床的検討	渡辺 隆	国立がんセンター 中央病院	1,400	補委 厚生労働省 がん研究助成金
放射線治療期間の短縮に関する多施設共同臨床試験の確立に関する研究	加賀美 芳和	国立がんセンター 中央病院	9,270	補委 厚生労働省 がん研究助成金
大腸がん肝転移の予知ならびに予防的治療に関する研究	藤田 伸	国立がんセンター 中央病院	4,820	補委 厚生労働省 がん研究助成金
大腸癌肝転移の予測因子の解析	谷口 浩和	国立がんセンター 中央病院	2,000	補委 厚生労働省 がん研究助成金
Stage I 食道がんに対する放射線・抗がん剤併用と手術単独療法の有効性の比較	井垣 弘康	国立がんセンター 中央病院	7,270	補委 厚生労働省 がん研究助成金
胃癌発症に密接に関与するメチル化に及ぼす諸要因	中島 健	国立がんセンター 中央病院	800	補委 厚生労働省 がん研究助成金
大動脈症候群に対するIVRIについての研究	竹内 義人	国立がんセンター 中央病院	1,000	補委 厚生労働省 がん研究助成金
医療実態調査研究における統計システムの開発	角 美奈子	国立がんセンター 中央病院	1,000	補委 厚生労働省 がん研究助成金
局所進行子宮頸がんに対する治療法の確立に関する研究	笠松 高広	国立がんセンター 中央病院	1,200	補委 厚生労働省 がん研究助成金
低位直腸がん手術における肛門温存療法の開発に関する研究	森谷 亘皓	国立がんセンター 中央病院	3,510	補委 厚生労働省 がん研究助成金
食道腺癌の高危険群の同定および予防介入試験に関する研究	下田 忠和	国立がんセンター 中央病院	5,470	補委 厚生労働省 がん研究助成金
パレット食道の適切な内視鏡診断方法の検証と欧米との比較研究	後藤田 卓志	国立がんセンター 中央病院	1,500	補委 厚生労働省 がん研究助成金
がん患者の支持療法・緩和療法の技術の向上及びその評価に関する研究	的場 元弘	国立がんセンター 中央病院	6,320	補委 厚生労働省 がん研究助成金
肺がん開胸術後痛に関する研究	下山 直人	国立がんセンター 中央病院	1,000	補委 厚生労働省 がん研究助成金
胆道膵悪性腫瘍の至適外科治療選択基準を確立するための術前総合診断能向上を目指した研究	島田 和明	国立がんセンター 中央病院	6,520	補委 厚生労働省 がん研究助成金
悪性黒色腫に対する新しい診療体系の確立に関する研究		国立がんセンター		補 厚生労働省

小計 15

小計 17

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
る研究	山崎 直也	中央病院	6,770	委 がん研究助成金
難治性リンパ系腫瘍の生物学的特性に基づく治療法の開発・推進	飛内 賢正	国立がんセンター 中央病院	1,200	補 厚生労働省 委 がん研究助成金
神経内分泌的特性をもった非小細胞肺がんの手術成績と予後の特徴	渡辺 俊一	国立がんセンター 中央病院	1,000	補 厚生労働省 委 がん研究助成金
がん組織の特異性を利用したドレッジデリバリーシステム(DDS)薬剤の基礎的・臨床的開発に関する研究	濱口 哲弥	国立がんセンター 中央病院	2,820	補 厚生労働省 委 がん研究助成金
がん治療による口腔内合併症の予防法及び治療法の確立に関する研究	浅井 昌大	国立がんセンター 中央病院	5,120	補 厚生労働省 委 がん研究助成金
がん患者の診療における放射線被曝の実態調査に関する研究	伊丹 純	国立がんセンター 中央病院	1,000	補 厚生労働省 委 がん研究助成金
局所療法適応外の幹細胞がんに対する経動脈的治療法標準化(手技を含む)の研究	荒井 保明	国立がんセンター 中央病院	6,770	補 厚生労働省 委 がん研究助成金
遺伝子発現解析によるホルモン療法抵抗乳癌の研究	清水 千佳子	国立がんセンター 中央病院	1,800	補 厚生労働省 委 がん研究助成金
がん診療を標準化するための病理診断基準確立に関する研究	津田 均	国立がんセンター 中央病院	6,370	補 厚生労働省 委 がん研究助成金
乳がん患者を対象として抗がん剤の効果・副作用を予測する血清バイオマーカーの検索	田村 研治	国立がんセンター 中央病院	1,500	補 厚生労働省 委 がん研究助成金
食道がんEMR後follow-upコホート試験	小田 一郎	国立がんセンター 中央病院	800	補 厚生労働省 委 がん研究助成金
進行肝臓がんに対する標準的治療法の確立に関する研究	奥坂 拓志	国立がんセンター 中央病院	8,820	補 厚生労働省 委 がん研究助成金
各種がん免疫療法の開発と臨床有効性評価に関する研究	平家 勇司	国立がんセンター 中央病院	5,270	補 厚生労働省 委 がん研究助成金
画像によるがんの診断、治療法選択、治療効果判定に関する研究	渡辺 裕一	国立がんセンター 中央病院	6,320	補 厚生労働省 委 がん研究助成金
標準的乳がんセンチネルリンパ節生検法の確立のための多施設共同研究	木下 貴之	国立がんセンター 中央病院	4,820	補 厚生労働省 委 がん研究助成金
腹部臓器に発生するがんに対する診断支援システムの開発と利用に関する研究	飯沼 元	国立がんセンター 中央病院	1,500	補 厚生労働省 委 がん研究助成金
難治がんの総合的な対策に関する研究	田村 友秀	国立がんセンター 中央病院	50,284	補 厚生労働省 委 がん研究助成金
胃切除後の代謝生理、	佐野 武	国立がんセンター 中央病院	3,000	補 厚生労働省 委 がん研究助成金
より良い放射線治療のためのQA・QCに関する研究	角 美奈子	国立がんセンター 中央病院	1,200	補 厚生労働省 委 がん研究助成金
より良い検体採取法のあり方に関する研究	土田 敬明	国立がんセンター 中央病院	1,200	補 厚生労働省 委 がん研究助成金
科学的根拠に基づいた免疫療法の臨床開発	平家 勇司	国立がんセンター 中央病院	12,900	補 厚生労働省 委 がん研究助成金
進行肺がんに対するWT1ペプチドワクチンの評価方法の確立に関する研究	奥坂 拓志	国立がんセンター 中央病院	1,200	補 厚生労働省 委 がん研究助成金
WT1ペプチドワクチンの進行肺がんに対する有用性に関する研究	森実 千種	国立がんセンター 中央病院	1,200	補 厚生労働省 委 がん研究助成金
悪性腫瘍に対するWT1ペプチドを用いた免疫療法	成田 善孝	国立がんセンター 中央病院	1,200	補 厚生労働省 委 がん研究助成金
局所進行肺がん手術のための画像抽出方法と手術適応拡大に関する研究	渡辺 俊一	国立がんセンター 中央病院	5,500	補 厚生労働省 委 がん研究助成金
がん政策医療ネットワークにおける臨床課題解決のためのデータベース構築に関する研究	藤原 康弘	国立がんセンター 中央病院	1,700	補 厚生労働省 委 がん研究助成金
大腸がんにおける診断、治療フォローアップの標準化を目指した合意形成のための研究	森谷 亘皓	国立がんセンター 中央病院	1,700	補 厚生労働省 委 がん研究助成金
早期消化管がんに対する内視鏡的治療法の開発と標準化に関する研究	斎藤 豊	国立がんセンター 中央病院	4,000	補 厚生労働省 委 がん研究助成金
固形がんに対する放射線治療の標準化に関する研究	加賀美 芳和	国立がんセンター 中央病院	1,700	補 厚生労働省 委 がん研究助成金
がん患者における緩和医療(支持療法)の普及と評価に関する研究	下山 直人	国立がんセンター 中央病院	1,600	補 厚生労働省 委 がん研究助成金
がん専門医療施設における臨床教育体制の整備とその評価法の開発に関する研究	片井 均	国立がんセンター 中央病院	800	補 厚生労働省 委 がん研究助成金
がん医療政策提言に向けた研究	藤原 康弘	国立がんセンター 中央病院	1,000	補 厚生労働省 委 がん研究助成金
リンパ系腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	飛内 賢正	国立がんセンター 中央病院	2,500	補 厚生労働省 委 がん研究助成金

小計 17

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
術前化学療法後乳癌に対するセンチネルリンパ節生検の確立	木下 貴之	国立がんセンター 中央病院	1,200	補 委 厚生労働省 がん研究助成金	小計 17
婦人科悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	笠松 高弘	国立がんセンター 中央病院	1,200	補 委 厚生労働省 がん研究助成金	
進行肺がんに対する新たな化学療法の研究	田村 友秀	国立がんセンター 中央病院	900	補 委 厚生労働省 がん研究助成金	
進行肺がんの集学的治療	浅村 尚生	国立がんセンター 中央病院	1,300	補 委 厚生労働省 がん研究助成金	
消化器悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	島田 安博	国立がんセンター 中央病院	8,000	補 委 厚生労働省 がん研究助成金	
食道がんの集学的治療の研究	井垣 弘康	国立がんセンター 中央病院	1,000	補 委 厚生労働省 がん研究助成金	
大腸がんに対する外科的集学的治療の研究	森谷 亘皓	国立がんセンター 中央病院	6,000	補 委 厚生労働省 がん研究助成金	
希少悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同試験	渋井 壮一郎	国立がんセンター 中央病院	12,600	補 委 厚生労働省 がん研究助成金	
放射線・化学療法が有効な悪性神経膠腫の遺伝子学的特徴の解析と新規治療法の開発	成田 善孝	国立がんセンター 中央病院	1,000	補 委 厚生労働省 がん研究助成金	
骨転移に対する集学的治療法の開発	中馬 広一	国立がんセンター 中央病院	1,200	補 委 厚生労働省 がん研究助成金	
放射線治療の期間短縮に関する研究	加賀 美芳和	国立がんセンター 中央病院	500	補 委 厚生労働省 がん研究助成金	
多施設共同研究の質的向上に必要な放射線治療の品質管理と品質保証に関する研究	伊藤 芳紀	国立がんセンター 中央病院	1,000	補 委 厚生労働省 がん研究助成金	
乳がん・婦人科がんの集学的治療の早期開発の研究体制確立に関する研究	安藤 正志	国立がんセンター 中央病院	1,000	補 委 厚生労働省 がん研究助成金	
新しい診断機器の検診への応用とこれらを用いた診断精度の向上に関する研究	斎藤 豊	国立がんセンター 中央病院	34,800	補 委 厚生労働省 科学研究費	小計 17
がん検診に有用な新しい腫瘍マーカーの開発	奥坂 拓志	国立がんセンター 中央病院	3,000	補 委 厚生労働省 科学研究費	
希少がん(悪性脳腫瘍)の個別適正化治療のためのTRI(Translational Research Informatics)システムの開発	成田 善孝	国立がんセンター 中央病院	34,000	補 委 厚生労働省 科学研究費	
がん治療のための革新的新技術の開発に関する総合的な研究	角 美奈子	国立がんセンター 中央病院	18,500	補 委 厚生労働省 科学研究費	
新しい薬物療法の導入とその最適化に関する研究	田村 友秀	国立がんセンター 中央病院	17,600	補 委 厚生労働省 科学研究費	
QOLの向上をめざしたがん治療法の開発研究	荒井 保明	国立がんセンター 中央病院	7,000	補 委 厚生労働省 科学研究費	
QOL向上のための各種患者支援プログラムの開発に関する研究	下山 直人	国立がんセンター 中央病院	3,000	補 委 厚生労働省 科学研究費	
がんの医療経済的な解析を踏まえた患者負担最小化に関する研究	金子 昌弘	国立がんセンター 中央病院	1,600	補 委 厚生労働省 科学研究費	
患者・家族・国民に役立つ情報提供のためのがん情報データベースや医療機関データベースの構築に関する研究	若尾 文彦	国立がんセンター 中央病院	20,000	補 委 厚生労働省 科学研究費	
がんの診療科データベースとJapanese National Cancer Database(JNCDB)の構築と運用	日月 裕司	国立がんセンター 中央病院	4,000	補 委 厚生労働省 科学研究費	
症例登録を踏まえた病院共通のコンピューターシステムの開発とコストに関する研究	浅村 尚男	国立がんセンター 中央病院	2,000	補 委 厚生労働省 科学研究費	
悪性胸腺中皮腫の病態の把握と診断法、治療法の確立に関する研究	金子 昌弘	国立がんセンター 中央病院	8,090	補 委 厚生労働省 科学研究費	
HER2過剰発現を有する乳がんに対する術前Trastuzumab化学療法のランダム化第II相比較試験	安藤 正志	国立がんセンター 中央病院	58,510	補 委 厚生労働省 科学研究費	
高次脳機能を温存する転移性脳腫瘍の治療法確立に関する研究	渋井 壮一郎	国立がんセンター 中央病院	1,000	補 委 厚生労働省 科学研究費	
再発小細胞肺がんに対する標準的治療法の確立に関する研究	田村 友秀	国立がんセンター 中央病院	1,200	補 委 厚生労働省 科学研究費	
進行・再発子宮頸癌に対する標準的な治療体系の確立に関する研究	笠松 高弘	国立がんセンター 中央病院	1,000	補 委 厚生労働省 科学研究費	
進行性大腸がんに対する低侵襲治療法の確立に関する研究	森谷 亘皓	国立がんセンター 中央病院	1,500	補 委 厚生労働省 科学研究費	
がん患者の医療機関受診に関する動態調査	下山 直人	国立がんセンター 中央病院	11,712	補 委 厚生労働省 科学研究費	
相談内容の分析等を踏まえた相談支援センターのあり方に関する研究	若尾 文彦	国立がんセンター 中央病院	1,800	補 委 厚生労働省 科学研究費	
がん対策における管理評価指標群の策定とその計		国立がんセンター		補 委 厚生労働省	

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
測システムの確立に関する研究	島田 安博	中央病院	1,000	委 科学研究費
沿革診療の技術を用いたがんの病理診断支援のあり方に関する研究	片井 均	国立がんセンター 中央病院	20,798	補 厚生労働省 科学研究費
がん患者のQOLを向上させることを目的とした支持療法のあり方に関する研究	的場 元弘	国立がんセンター 中央病院	500	補 厚生労働省 科学研究費
成人T細胞白血病(ATL)に対する同種幹細胞移植療法の開発とそのHTLV-1非排除機構の解明に関する研究	田野崎 隆二	国立がんセンター 中央病院	700	補 厚生労働省 科学研究費
切除可能胆道領域がんに対する補助療法の研究	小菅 智男	国立がんセンター 中央病院	10,969	補 厚生労働省 科学研究費
限局型小細胞肺癌に対する新たな標準的治療の確立に関する研究	田村 友秀	国立がんセンター 中央病院	12,690	補 厚生労働省 科学研究費
治療関連合併症を減少させて同種造血幹細胞移植後の生存率の向上を目指す標準的治療法の開発	福田 隆浩	国立がんセンター 中央病院	12,698	補 厚生労働省 科学研究費
悪性リンパ腫に対する免疫化学療法最適化による新たな標準的治療の確立	飛内 賢正	国立がんセンター 中央病院	2,000	補 厚生労働省 科学研究費
再発高危険群の大腸がんに対する術後補助療法に関する研究	森谷 亘皓	国立がんセンター 中央病院	18,006	補 厚生労働省 科学研究費
切除不能胆道がんに対する治療法の確立に関する研究	奥坂 拓志	国立がんセンター 中央病院	22,698	補 厚生労働省 科学研究費
大腸がん肝転移症例の術後補助医学療法に関する研究	濱口 哲也	国立がんセンター 中央病院	1,600	補 厚生労働省 科学研究費
再発小児固形腫瘍に対する塩酸ノギテカンとイホスファミド併用療法の第I/II相臨床試験	牧本 敏	国立がんセンター 中央病院	12,198	補 厚生労働省 科学研究費
再発等の難治性造血器腫瘍に対する同種造血幹細胞移植を用いた効果的治療法確立に関する研究	森 慎一郎	国立がんセンター 中央病院	16,698	補 厚生労働省 科学研究費
進行期難治性B細胞リンパ腫に対する大量化学療法を併用した効果的治療に関する臨床研究	渡辺 隆	国立がんセンター 中央病院	4,600	補 厚生労働省 科学研究費
原発不明がんの診断・効果的治療の確立に関する研究	河野 勤	国立がんセンター 中央病院	700	補 厚生労働省 科学研究費
がん領域における薬剤のエビデンスの確立を目的とした臨床研究	勝俣 範之	国立がんセンター 中央病院	67,300	補 厚生労働省 科学研究費
神経芽腫におけるリスク分散にもとづく標準的治療の確立と均てん化および新規診断・治療法の開発	牧本 敏	国立がんセンター 中央病院	4,700	補 厚生労働省 科学研究費
難治性白血病に対する標準的治療法の確立に関する研究	小林 幸夫	国立がんセンター 中央病院	600	補 厚生労働省 科学研究費
がんの腹膜播種に対する標準的治療の確立に関する研究	山田 康秀	国立がんセンター 中央病院	800	補 厚生労働省 科学研究費
子宮体がんに対する標準的化学療法法の確立に関する研究	勝俣 範之	国立がんセンター 中央病院	1,000	補 厚生労働省 科学研究費
進展型小細胞肺癌に対する予防的全脳照射のランダム化比較第III相試験	関根 郁夫	国立がんセンター 中央病院	800	補 厚生労働省 科学研究費
ポリープ切除の大腸がん予防に及ぼす効果の評価と内視鏡検査間隔の適正化に関する前向き臨床試験	松田 尚久	国立がんセンター 中央病院	38,620	補 厚生労働省 科学研究費
臨床病期II・IIIの下部直腸がんに対する側方リンパ節郭清術の意義に関するランダム化比較試験	藤田 伸	国立がんセンター 中央病院	8,499	補 厚生労働省 科学研究費
早期消化管がんに対する内視鏡的治療の安全性と有効性の評価に関する研究-粘膜下層浸潤臨床病期	伊藤 芳紀	国立がんセンター 中央病院	900	補 厚生労働省 科学研究費
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	藤本 博行	国立がんセンター 中央病院	300	補 厚生労働省 科学研究費
悪性神経膠腫に対するTemozolomideの治療効果を増強した標準的治療法確立に関する研究	渋井 壮一郎	国立がんセンター 中央病院	15,553	補 厚生労働省 科学研究費
高精度治療技術による低リスク高線量放射線治療に関する臨床研究	伊丹 純	国立がんセンター 中央病院	1,400	補 厚生労働省 科学研究費
緩和ケアにおけるIVRの確立についての研究	荒井 保明	国立がんセンター 中央病院	17,698	補 厚生労働省 科学研究費
地域に根ざした医療システムの展開に関する研究	清水 研	国立がんセンター 中央病院	3,000	補 厚生労働省 科学研究費

小計 17

小計 17

計 126

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申
 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Biol Chem	Aberrant interaction between Parkinson's disease-associated mutant UCH-L1 and the lysosomal receptor for chaperone-mediated autophagy.	Furuta K	Clinical Laboratory
Gastrointest Endosc	Nonpolypoid neoplastic lesions of colorectal mucosa.	Matsuda T	Pathology
Virchows Arch	Advantage of FISH analysis using FKHR probes for an adjunct to diagnosis of rhabdomyosarcoma.	Shimoda T	Pathology
Pathol Int	Two cases of early-stage esophageal malignant melanoma with long-term survival.	Taniguchi H	Pathology
Arch Pathol Lab Med	Analysis of expression patterns of breast cancer-specific markers (mammaglobin and gross cystic disease fluid protein 15) in lung and pleural tumors.	Tsuta K	Pathology
Surg Today	Successful resection of dermatomyositis associated with thymic carcinoma: report of a case.	Tsuta K	Pathology
J Thorac Oncol	Histological evaluation of the effect of smoking on peripheral small adenocarcinomas of the lung.	Maeshima AM	Pathology
Pathol Int	Immunohistochemical expression of TTF-1 in various cytological subtypes of primary lung adenocarcinoma, with special reference to intratumoral heterogeneity.	Maeshima AM	Pathology
Cancer Sci	Diffuse large B-cell lymphoma after transformation from low-grade follicular lymphoma: morphological, immunohistochemical, and FISH analyses.	Maeshima AM	Pathology
Jpn J Clin Oncol	Follicular lymphoma of the duodenum: a clinicopathologic analysis of 26 cases.	Maeshima AM	Pathology
Histopathology	Gross features of lobular endocervical glandular hyperplasia in comparison with minimal-deviation adenocarcinoma and stage Ib endocervical-type mucinous	Sasajima Y	Pathology
Cancer Lett	Cap43/NDRG1/Drg-1 is a molecular marker for angiogenesis and a prognostic indicator in cervical adenocarcinoma.	Tsuda H	Pathology
Cancer Res	Frequent inactivation of a putative tumor suppressor, Angiopoietin-like protein 2, in ovarian cancer.	Tsuda H	Pathology
Clin Oncol	Histopathological assessment of anastrozole and tamoxifen as preoperative (neoadjuvant) treatment in postmenopausal Japanese women with hormone receptor-positive breast cancer in the PROACT trial.	Tsuda H	Pathology
Am J Clin Pathol	What causes discrepancies in HER2 testing for breast cancer? : A Japanese ring study in conjunction with global standard.	Tsuda H	Pathology
Breast Cancer Res Treat	Phase II study of preoperative sequential FEC and docetaxel predicts of pathological response and disease free survival.	Tsuda H	Pathology
Clin Cancer Res	Expression and gene amplification of actinin-4 in invasive ductal carcinoma of the pancreas.	Tsuda H	Pathology
Clin Cancer Res	Genetic clustering of clear cell renal cell carcinoma based on array-comparative genomic hybridization: Its association with DNA methylation alteration and patient outcome.	Tsuda H	Pathology
Radiology	Bone metastases in patients with metastatic breast cancer: morphologic and metabolic monitoring of response to systemic therapy with integrated PET/CT.	Tateishi U	Diagnostic Radiology
Eur Radiol	Fluctuation in measurements of pulmonary nodule under tidal volume ventilation on four-dimensional computed tomography: preliminary results.	Tateishi U	Diagnostic Radiology
Eur Radiol	Prospective comparison of high- and low-spatial-resolution dynamic MR imaging with sensitivity encoding (SENSE) for hypervascular hepatocellular carcinoma.	Tsurusaki M	Diagnostic Radiology
Magn Reson Imaging	3.0-T MRI evaluation of patients with chronic liver diseases: initial observations.	Tsurusaki M	Diagnostic Radiology
J Hepatol	Surgical resection vs. percutaneous ablation for hepatocellular carcinoma: a preliminary report of the Japanese nationwide survey.	Takayasu K	Diagnostic Radiology
Surgery	Comparison of the outcomes between an anatomical subsegmentectomy and a non-anatomical minor hepatectomy for single hepatocellular carcinomas based on a Japanese nationwide survey.	Takayasu K	Diagnostic Radiology
Cardiovasc Intervent Radiol	Editor's Recognition Award for Distinction in Reviewing 2008.	Arai Y.	Diagnostic Radiology
Radiat Med	Computed tomography and magnetic resonance imaging findings of soft tissue perineurioma.	Tateishi U	Diagnostic Radiology

小計 22

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Radiat Med	Computer-aided detection in computed tomography colonography: current status and problems with detection	Iinuma G	Diagnostic Radiology
Br J Radiol	Implant hyperthermia resonant circuit produces heat in response to MRI unit radiofrequency pulses.	Kurihara H	Diagnostic Radiology
Appl Radiat Isot	Imaging and dosimetry of ^{99m} Tc EC annexin V: preliminary clinical study targeting apoptosis in breast tumors.	Kurihara H	Diagnostic Radiology
Cardiovasc Intervent Radiol	Transcatheter arterial chemoembolization (TACE) with lipiodol to treat hepatocellular carcinoma: survey results from the TACE study group of Japan.	Arai Y.	Diagnostic Radiology
Cardiovasc Intervent Radiol	Hepatic arterial infusion chemotherapy through a port-catheter system as preoperative initial therapy in patients with advanced liver dysfunction due to synchronous and	Arai Y.	Diagnostic Radiology
Eur J Radiol	Nodal status of malignant lymphoma in pelvic and retroperitoneal lymphatic pathways: comparison of integrated PET/CT with or without contrast	Tateishi U	Diagnostic Radiology
Eur Radiol	CT colonography: computer-aided detection of morphologically flat T1 colonic carcinoma.	Iinuma G	Diagnostic Radiology
J Comput Assist Tomogr	Computed tomographic findings and prognosis in thymic epithelial tumor patients.	Tateishi U	Diagnostic Radiology
Ann Nucl Med	Correlation of chromogranin A levels and somatostatin receptor scintigraphy findings in the evaluation of metastases in carcinoid tumors.	Tateishi U	Diagnostic Radiology
Neuropathology	CNS lymphomatoid granulomatosis with lymph node and bone marrow involvements.	Tateishi U	Diagnostic Radiology
Lung Cancer	Mucoepidermoid carcinoma of the lung: high-resolution CT and histopathologic findings in five cases.	Tateishi U	Diagnostic Radiology
Clin Cancer Res	Prospective study of the accuracy of EGFR mutational analysis by high-resolution melting analysis in small samples obtained from patients with non-small cell lung cancer.	Ohe Y	Diagnostic Radiology
Ann Nucl Med	Diagnostic performance of PET/CT in differentiation of malignant and benign non-solid solitary pulmonary nodules.	Tateishi U	Diagnostic Radiology
Ann Nucl Med	Evaluation of whole-body cancer screening using ¹⁸ F-2-deoxy-2-fluoro-D-glucose positron emission tomography: a preliminary report.	Terauchi T	Diagnostic Radiology
J Comput Assist Tomogr	Global cerebral hypoperfusion in a patient with transient global amnesia.	Yamane Y	Diagnostic Radiology
Am J Respir Crit Care Med	Interstitial lung disease in Japanese patients with lung cancer: a cohort and nested case-control study.	Kato H	Diagnostic Radiology
J Gastroenterol Hepatol	Time trend in the proportion of adenocarcinoma of the oesophagogastric junction in Japan.	Gotoda T,	Endoscopy Division
Endoscopy	Total endoscopic resection of Barrett esophagus.	Gotoda T,	Endoscopy Division
Br J Surg	Treatment strategy after non-curative endoscopic resection of early gastric cancer.	Gotoda T,	Endoscopy Division
Gastrointest Endosc	Is en bloc resection essential for endoscopic resection of GI neoplasia?.	Gotoda T,	Endoscopy Division
Gastrointest Endosc	Efficacy and safety of 1-step transnasal endoscopic nasobiliary drainage for the treatment of acute cholangitis in patients who had undergone an endoscopic sphincterotomy (with videos).	Tsuchiya T	Endoscopy Division
Endoscopy	Routine coagulation of visible vessels may prevent delayed bleeding after endoscopic submucosal dissection—an analysis of risk factors.	Gotoda T,	Endoscopy Division
Gastrointest Endosc	Clinical Impact of Endoscopic Submucosal Dissection (ESD) for Superficial Adenocarcinoma Located at the Esophagogastric Junction (EGJ).	Gotoda T,	Endoscopy Division
Gastrointest Endosc	Usefulness and safety of 0.4% sodium hyaluronate solution as a submucosal fluid "cushion" in endoscopic resection for gastric neoplasms: a prospective multicenter trial.	Gotoda T,	Endoscopy Division
Lancet Oncol	Screening for Gastric Cancer in Asia: Current Evidence and Practice.	Gotoda T,	Endoscopy Division
Endoscopy	Endoscopic diagnosis of pharyngeal carcinoma by NBI.	Saito Y	Endoscopy Division
Endoscopy	A superficial early colitic cancer that resembled a laterally spreading tumor on chromoendoscopy.	Saito Y	Endoscopy Division

小計 26

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am J Gastroenterol	Does Autofluorescence Imaging Videoendoscopy System Improve the Colonoscopic Polyp Detection Rate?--A Pilot Study.	Saito Y	Endoscopy Division
Am J Gastroenterol	Efficacy of the invasive/non-invasive pattern by magnifying estimate the depth of invasion of early colorectal neoplasms.	Matsuda T	Endoscopy Division
J Gastroenterol Hepatol	Endoscopic submucosal resection with a ligation device is an effective and safe treatment for carcinoid tumors in the lower rectum.	Matsuda T	Endoscopy Division
Dig Dis Sci	Staging of early colorectal cancers: magnifying colonoscopy versus endoscopic ultrasonography for estimation of depth of invasion.	Saito Y	Endoscopy Division
Gastroenterology	Electronic Clinical Challenges and Images in GI.	Saito Y	Endoscopy Division
World J Gastroenterol	Narrow-band imaging optical chromocolonoscopy: Advantages and limitations.	Saito Y	Endoscopy Division
Breast Cancer	The progress and prospects of personalized systemic therapy for breast cancer patients: is it a reality?.	Shimizu C	Breast and Medical Oncology
Jpn J Clin Oncol	Therapy-related acute promyelocytic leukemia caused by hormonal therapy and radiation in a patient with recurrent breast cancer.	Shimizu C	Breast and Medical Oncology
Cancer Sci	Phase I trial of denosumab safety, pharmacokinetics, and pharmacodynamics in Japanese women with breast cancer-related bone metastases.	Yonemori K	Breast and Medical Oncology
J Cancer Res Clin Oncol	Development and verification of a prediction model using serum tumor markers to predict the response to chemotherapy of patients with metastatic or recurrent breast cancer.	Yonemori K	Breast and Medical Oncology
J Neurooncol	Immunohistochemical profile of brain metastases from breast cancer.	Yonemori K	Breast and Medical Oncology
Br J Cancer	A Phase II trial of Irinotecan plus carboplatin for patients with carcinoma of unknown primary site.	Yonemori K	Breast and Medical Oncology
Jpn J Clin Oncol	Phase II Clinical Trial of Pegylated Liposomal Doxorubicin (JNS002) in Japanese Patients with Müllerian Carcinoma (Epithelial Ovarian Carcinoma, Primary Carcinoma of Fallopian Tube, Peritoneal Carcinoma) Having a Therapeutic History of Platinum-based Chemotherapy: A Phase II Study of the Japanese Gynecologic Oncology Group.	Katsumata N	Breast and Medical Oncology
Int J Clin Oncol	Leptomeningeal metastasis from ovarian carcinoma successfully treated by the intraventricular administration of methotrexate.	Katsumata N	Breast and Medical Oncology
Cancer Chemother Pharmacol	Impact of CYP3A4 haplotypes on irinotecan pharmacokinetics in Japanese cancer patients.	Hamaguchi T	Gastrointestinal Oncology
Eur J Cancer	Combination of O(6)-methylguanine-DNA methyltransferase and thymidylate synthase for the prediction of flouropyrimidine efficacy.	Yamada Y	Gastrointestinal Oncology
Neoplasia	Oncogenic Ras-induced morphologic change is through MEK/ERK signaling pathway to downregulate Stat3 at a posttranslational level in NIH3T3 cells.	Kato K	Gastrointestinal Oncology
Langenbecks Arch Surg	Simple segmental resection of the second portion of the duodenum for the treatment of gastrointestinal stromal tumor.	Hamaguchi T	Gastrointestinal Oncology
Br J Cancer	Impacts of excision repair cross-complementing gene 1 (ERCC1), dihydropyrimidine dehydrogenase, and epidermal growth factor receptor on the outcomes of patients with advanced gastric cancer.	Yamada Y	Gastrointestinal Oncology
Clinical Colorectal Cancer	Current Status of Chemotherapy for Advanced Colorectal Cancer in Japan.	Yamada Y	Gastrointestinal Oncology
Br J Cancer	Phase I / II study of oxaliplatin with oral S-1 as first-line therapy for patients with metastatic colorectal cancer.	Yamada Y	Gastrointestinal Oncology
Int J Cancer	Synergistic antitumor activity of novel SN-38-incorporating polymeric micelles, NK012, combined with 5-fluorouracil in a mouse model of colorectal cancer, as compared with that of irinotecan plus 5-fluorouracil.	Yasunaga M	Gastrointestinal Oncology

小計 22

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Jpn J Clin Oncol	Gastrointestinal Oncology Study Group of Japan Clinical Oncology Group. A Phase II study of sequential methotrexate and 5-fluorouracil chemotherapy in previously treated gastric cancer: A report from the Gastrointestinal Oncology Group of the Japan Clinical Oncology Group. JCOG 9207 Trial.	Hamaguchi T	Gastrointestinal Oncology
Clin Cancer Res	Impact of Insulin-Like Growth Factor Type 1 Receptor, Epidermal Growth Factor Receptor, and HER2 Expressions on Outcomes of Patients with Gastric Cancer.	Yamada Y	Gastrointestinal Oncology
Oncology	Clinical Significance of Insulin-Like Growth Factor Type 1 Receptor and Epidermal Growth Factor Receptor in Patients with Advanced Gastric Cancer.	Yamada Y	Gastrointestinal Oncology
Jpn J Clin Oncol	A Phase I Study of Bolus 5-Fluorouracil and Leucovorin Combined with Weekly Paclitaxel (FLTAX) as First-line Therapy for Advanced Gastric Cancer.	Shimada Y	Gastrointestinal Oncology
Drug Metab Pharmacokinet	Genetic Variations and Haplotypes of ABCB2 Encoding MRP2 in Japanese Population.	Saito Y	Gastrointestinal Oncology
Dis Esophagus	Chemosensitivity of patients with recurrent esophageal cancer receiving perioperative chemotherapy.	Nakajima TE	Gastrointestinal Oncology
Cancer Sci	Identification of prognostic biomarkers in gastric cancer using endoscopic biopsy samples.	Yamada Y	Gastrointestinal Oncology
J Clin Oncol	Distinct gene expression-defined classes of gastrointestinal stromal tumor.	Yamaguchi U	Gastrointestinal Oncology
Clin Cancer Res	Pfetin as a prognostic biomarker of gastrointestinal stromal tumors revealed by proteomics.	Shimada Y	Gastrointestinal Oncology
Cancer Research	Antitumor Effect of SN-38-Releasing Polymeric Micelles, NK012, on Spontaneous Peritoneal Metastasis from Orthotopic Gastric Cancer in Mice Compared with Irinotecan.	Nakajima TE	Gastrointestinal Oncology
Gastric Cancer	Combination chemotherapy with cisplatin and irinotecan in patients with adenocarcinoma of small intestine.	Nakajima TE	Gastrointestinal Oncology
Int J Hematol	Stromal cells in bone marrow play important roles in pro-inflammatory cytokine secretion causing fever following bortezomib administration in patients with multiple myeloma.	Maruyama D	Hematology
Int J Hematol	Progressive multifocal leukoencephalopathy in a patient with B-cell lymphoma during rituximab-containing chemotherapy: case report and review of the literature.	Watanabe T	Hematology
Jpn J Clin Oncol	Follicular lymphoma of the duodenum: a clinicopathologic analysis of 26 cases.	Maeshima AM	Hematology
Cancer Sci	Diffuse large B-cell lymphoma after transformation from low-grade follicular lymphoma: morphological,	Maeshima AM	Hematology
Int J Hematol	Nocardia exalbida brain abscess in a patient with follicular lymphoma.	Kobayashi Y	Hematology
Cancer Sci	Phase I and II pharmacokinetic and pharmacodynamic study of the proteasome inhibitor bortezomib in Japanese patients with relapsed or refractory multiple myeloma.	Tobinai K	Hematology
Jpn J Clin Oncol	Therapy-related acute promyelocytic leukemia caused by hormonal therapy and radiation in a patient with recurrent breast cancer.	Watanabe T	Hematology
J Clin Oncol	Randomized phase II study of concurrent and sequential combinations of randomized rituximab @ plus CHOP (R-CHOP) in unrelated indolent B-NHL: 7-year follow-up results.	Watanabe T	Hematology
Blood	Ueda R. Phase I Study of KW-0761, a Defucosylated Anti-CCR4 Antibody, in Relapsed Patients (Pts) with Adult T-Cell Leukemia-Lymphoma (ATL) or Peripheral T-Cell Lymphoma (PTCL): Updated Results.	Tobinai K	Hematology
Blood	Genome-Wide Analysis of B Cell Non-Hodgkin's Lymphoma Disclosed Frequent Involvement of Genes in NFkB Pathway.	Watanabe T	Hematology
Blood	Phase I and Pharmacokinetic Study of Inotuzumab Ozogamicin (CMC-544) as a Single Agent in Japanese Patients with Follicular Lymphoma Pretreated with Rituximab.	Tobinai K	Hematology
Ann Oncol	An indolent course and t(14;18) in primary duodenal follicular lymphoma.	Kobayashi Y	Hematology

小計 22